

ブロッキングバッファー[1液タイプ]

Code No. BW-4011

使用説明書

【目的・用途】

1液系ブロッキング溶液です。タンク式、セミドライ式どちらでも使用可能です。

【特徴】

- 1) タンク式、セミドライ式の両方に対応
- 2) メタノール不含
- 3) 低ランニングコスト、高い再現性

【キット内容・保存方法】

内容	容量	開封後の保存方法
ブロッキングバッファー(10x)	500mL	室温

【主成分】

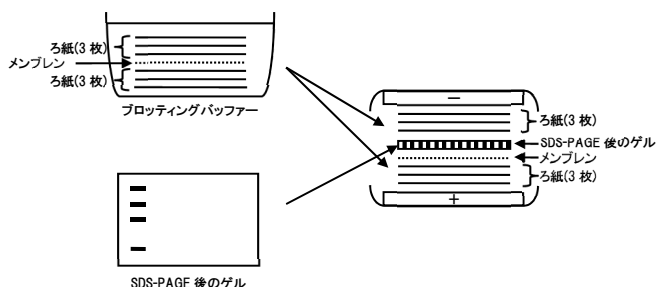
トリス、グリシン

【使用期限】

上記保存方法にて6ヶ月

【使用方法】

- 1) ブロッキングバッファー(10x)を蒸留水で10倍希釈します。
※メンブレンへのタンパク質結合効率を上げたい場合、10~20% (PVDFメンブレンの場合 \leq 15%、ニトロセルロースの場合 \leq 20%)のメタノールを加えます。
また、0.01~0.1%(w/v)のSDSをバッファーに加えることで高分子タンパク質のゲルからの溶出効率上がる場合がございます。
- 2) 適当な大きさのろ紙6枚を準備します。
- 3) メンブレンを準備します。
・PVDF膜を使用する場合、100%メタノール溶液に20秒間浸し、その後、超純水に1分間浸します。(親水化処理)
- 4) バッファーを容器に注ぎ、ろ紙、メンブレンをバッファーに浸します。
- 5) 室温で15分以上振とうします。
- 6) プロッターの陽極側からろ紙3枚、メンブレン、SDS-PAGE後のゲル、ろ紙3枚の順に重ねます。



- 7) ご使用のロッターの使用方法に従って、ブロッキングを行います。

【トラブルシューティング】

トラブル	原因・対策
バンドが流れる	バッファーが過剰 ろ紙、ゲル、メンブレンを積み重ねた後、ガラス棒などを転がし、過剰なバッファーを取り除き、その際に電極板に出たバッファーをふき取ってからブロッキングを開始してください。
高分子量タンパク質の転写効率が低い	ブロッキング時間が短い ブロッキング時間を延長してください。 また、0.01~0.1%(w/v)のSDSをバッファーに加えることで高分子タンパク質のゲルからの溶出効率上がる場合がございます。 高分子量タンパク質の転写は3液タイプのブロッキングバッファー(BW-4010)をご使用ください。
低分子量タンパク質の転写効率が低い	ブロッキング時間が長い ブロッキング時間を短くしてください。メンブレンを2重にしてください。 また、プロット後のゲルを染色し、ゲルに残っている場合はブロッキング時間を延長してください。



株式会社ファーマフーズ アプロサイエンスグループ

〒770-0865 徳島県徳島市南末広町4-53 エコービル4階

■Tel:088-678-6372 ■Mail:bio@apro-s.com

■Url:https://apro-s.com/

本社 〒615-8245 京都府京都市西京区御陵大原1-49